

# オリンピックピック出場権を賭けた 大阪・長居での決戦まであとわずか。 ロンドンまで響くような 力強い声援をお願いします。

待ちに待ったオリンピックピックの到来！日本の元気につながるメダルが期待される中、スポ・みどが注目したのは江里口匡史選手です。陸上競技の花形と呼ばれる100メートル競走で期待のホープ。日本歴代4位のタイム（10秒07）を保持し、世界で活躍が期待されている選手の一入として注目を集めています。現在、大阪を拠点に活動を続ける江里口選手に、ロンドン五輪とその出場権を賭けた日本陸上競技選手権大会（6月8〜10日・長居）への意気込み、100メートル競走観戦の見どころなどを伺いました。

—陸上競技をはじめたきっかけを教えてください。

江里口 小中学校を通して陸上部だったんですが、本気で頑張ろうと思ったのは中学3年生の夏。世界陸上競技選手権ハリア大会の200メートルで、未續（すえつぐ）慎吾選手が日本人初の

銅メダルを獲得したのを見て感懐し、自分ももっと速くなりたいと思いました。

—高校時代の陸上生活は？

江里口 2年生の全国インターハイで7位入賞したんですが、その後運悪く負傷して大事な大

会を欠場。それにも関わらず早稲田大学陸上部から誘っていただけなんです。その期待に応えるべく奮起し、3年生の国体で優勝することができました。

—日本歴代4位の記録を出したのも大学時代でしたね。



写真提供：フォート・キシモト

権をめざしています。日本一を決めるこの大会は大学1年生の時に初めて出場しましたが、決勝では隣が朝原宣治コーチで緊張しました。長居は、国際クラブプリ陸上大阪大会でも力走した思い出深い場所です。

—試合の見どころを教えてください。

江里口 早稲田大学3年生の時、日本陸上競技選手権でのことでした。予選で好タイムを出せたので競技場全体が記録への期待感に包まれ、とても温かい雰囲気の中で走れましたね。大阪ガスから誘いがあったのは、その後でした。日本が誇るトップアスリートで大阪ガスのコーチ、朝原宣治さんと話し合いを重ね、ここなら世界で戦えるかと確信したんです。

—世界で戦うための課題と対策は？

江里口 まずは実力の底上げですね。世界大会の決勝に出場するには、現時点でのベストタイムでも難しい状況。しかし、ライバル達も本番で必ずベストを出せるわけではなく、いかにし

て自分のピークを持っていかれるかが勝敗の鍵を握ります。また今取り組んでいるのが、脚力のパフォーマンスを最大限発揮する身体の使い方です。走行中、踏み下ろした足の接地時間は0.1秒もありません。着地後に地面を蹴ろうとしても、筋肉の働きが追いつかないのです。そこで肝心なのは、足が宙に浮いている時からどう準備して力を入れるのかということですね。それを考えながらやっています。今は良い感触がつかめつつあります。

—ますます江里口選手から目が離せませんが、今後の予定を教えてください。

江里口 6月に長居陸上競技場で開催される日本陸上競技選手

—より多くの方々に応援に来ていただきたいですね。

江里口 大阪に来てまだ1年目ですが、今ではここが私の地元だと思っています。日本代表が決まる大事な試合なので、ぜひ応援に来てください。熱い声援に応えるべく、私も全力で頑張ります！

## Special Interview

スペシャルインタビュー

### ●江里口選手のサイン色紙プレゼント！



江里口匡史選手のサイン色紙を5名の方にプレゼントいたします。ご希望の方は、ハガキに①お名前、②郵便番号、③住所、④年齢、⑤「スポ・みど」の入手場所、⑥「スポ・みど」の感想をご記入の

うえ、下記までお送りください。  
応募先：〒552-0005 大阪市港区田中3丁目1番40号  
(財)大阪市スポーツ・みどり振興協会  
「スポ・みど」16号 サイン色紙プレゼント係  
締め切り：平成24年7月10日(火)消印有効



江里口 匡史さん  
えりぐち まさし

1988年生まれ。熊本県菊池市出身・大阪在住。早稲田大学出身、大阪ガス株式会社に所属。短距離（100メートル）選手。2009年、日本陸上競技選手権で優勝。準決勝では10秒07の日本歴代4位をマーク。同年、世界陸上競技選手権ベルリン大会では、リレーで4位入賞。なお日本陸上競技選手権で3連覇中であり、この大会はロンドン五輪の出場権だけでなく、連覇記録の更新にも期待がかかる。元気の源は、出身地熊本の馬刺しと競技場での声援。愛称は「エリリン」

2012年3月9日 長居陸上競技場にて